

# 地域連携パスで安心して治療に取り組めます

## 地域連携パスってなあに？

「パス」とは、正式には「クリニカルパス」と呼ばれるもので、入院中の病院で患者さんの病気を治すうえで必要な治療・検査・期間をスケジュールした計画表のことです。パスの対象となる患者さんには、主治医や看護師がパスについて説明し、パス用紙をお渡しします。病気の治療内容やタイムスケジュールを明確にしたことで、患者さんの入院生活の不安を少しでも解消し、積極的に治療に取り組むことができます。

「地域連携パス」は、病院外の医療機関と連携して計画表が作成されているものです。転院先でも継続して計画的な治療を続けることができます。

## 対象となる患者さんって？

当院では、「大腿骨頸部骨折」と「脳卒中」でご入院中の患者さんが対象となります。

### 「大腿骨頸部骨折地域連携パス」

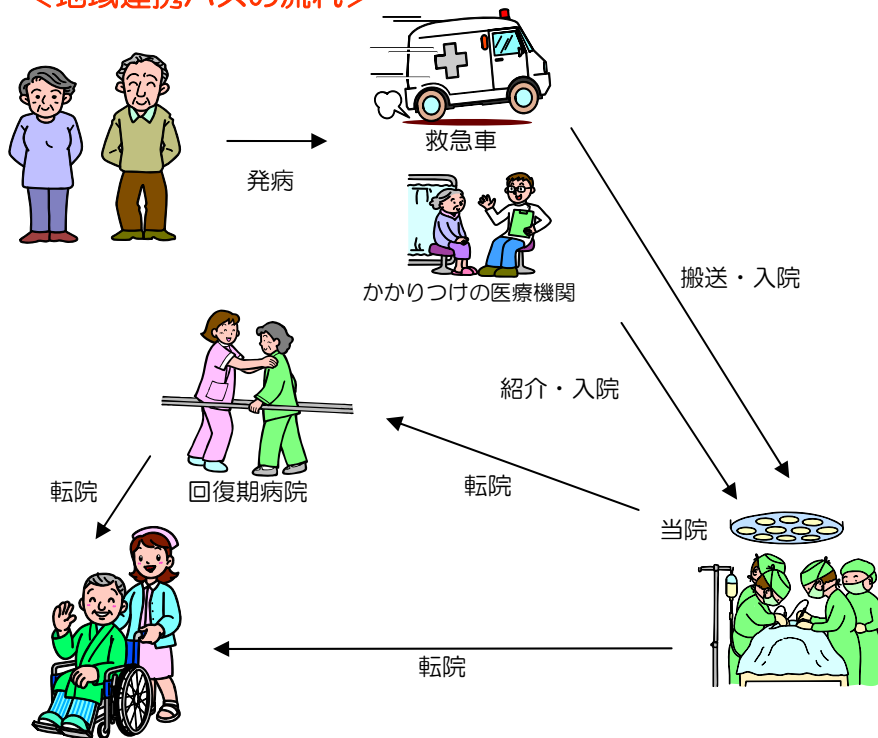
平成18年10月1日より地域連携パスの運用を行っています。現在では、急性期病院3施設、回復期病院7施設で共通のパスを活用しています。

### 「脳卒中地域連携パス」

平成21年10月より地域連携パスの運用を行っています。現在は急性期病院8施設、回復期病院15施設、維持期（療養型）病院72施設と連携を取りながら連携パスの普及に努めております。

当院は上記2つのパスについて会議運営やデータ集計、参加希望医療機関の窓口等の事務局を務めています。

### ＜地域連携パスの流れ＞



#### ☆急性期病院とは・・・

当院のような緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査など高度で専門的な急性期医療を提供する病院。

#### ☆回復期病院とは・・・

脳卒中や大腿骨頸部骨折等により脳や脊椎を損傷された患者さんを、早期のリハビリ目的に受け入れる病院。

#### ☆維持期（療養型）病院とは・・・

自宅での介護が困難な方を長期療養目的で受け入れる病院。

# 今月の医療

～こんな治療・検査をご存じですか

## 【インプラント治療について ー歯科口腔外科ー】

### インプラント治療法とは



「インプラント治療法」は歯を失った部分を補う治療の一つで、チタンやチタン合金でできた人工歯根（インプラント体）を歯を失った部分の顎の骨に埋めてその上に上部構造物（歯の形の部分）を装着する治療法です。



### 歯を失うと。。

そのままにしておくと様々な問題（隣の歯や噛み合う歯が動く、顎が痛くなる、他の歯に負担がかかるなど）が生じます。そのため何らかの方法で失った歯を補う必要があります。

一般的にはブリッジや入れ歯といった方法がありますがインプラント治療は以下のような特徴があります。

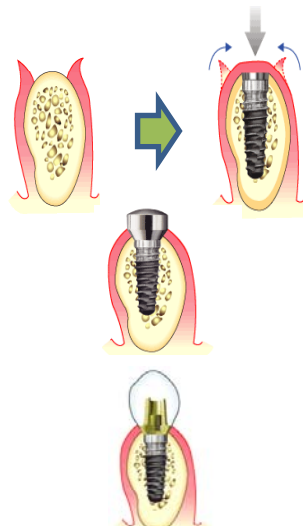
### インプラント治療の特徴

残っている歯を削る必要がなく、異物感が少なく、自分の歯に近い感覚で咬むことができます。

一方欠点として外科処置を伴う、自費診療であるため費用が比較的高額、治療期間が長期にわたることが多くなります。また、材料や治療法が進歩しましたが成功率は100%ではありません。

### インプラント治療の流れ

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| ① 診査      | ① レントゲン、模型、CT、血液検査など               |
| ② 1次手術    | ② 顎の骨にインプラント体を埋め込む手術               |
| ↓ 治癒期間    | ③ 骨とインプラント体が結合するまでの期間<br>(原則2ヶ月以上) |
| ③ 2次手術    | ④ 歯肉の上にインプラント体の頭を出す手術              |
| ↓ 治癒期間    | ⑤ 歯肉が治癒する期間 (原則2週間以上)              |
| ④ 型採り     | ⑥ かぶせものを作製するための型取り                 |
| ⑤ 完成      | ⑦ かぶせものの装着                         |
| ⑥ メインテナンス | ⑦ 定期検診                             |



インプラント治療は顎の状態や全身状態によって治療が不可能な場合もあります。担当医やご家族と相談し、他の治療法と比較してご自身にあった方法を選択することが大切です。

受診、相談をご希望の方は、かかりつけ歯科医院へご相談後、金曜日のインプラント外来担当森田の予約をお願いいたします。

歯科口腔外科部長 泉 裕幸